

最終処分場建設工事

要求水準書

(参考資料)

2020年3月

特定非営利活動法人 最終処分場技術システム研究協会

一般社団法人 持続可能社会推進コンサルタント協会

目 次

1. 総合評価方式の事例検討	- 1 -
1.1 概要	- 1 -
1.2 主な事例	- 1 -
1) 事例 A : 北海道、クローズドシステム処分場	- 3 -
2) 事例 B : 新潟県、オープン処分場	- 4 -
3) 事例 C : 滋賀県、クローズドシステム処分場	- 6 -
4) 事例 D : 北海道、クローズドシステム処分場	- 8 -
5) 事例 E : 広島県、クローズドシステム処分場	- 9 -
6) 事例 F : 北海道、オープン処分場	- 11 -
7) 事例 G : 北海道、クローズドシステム処分場	- 13 -
8) 事例 H : 岐阜県、オープン処分場	- 15 -
9) 事例 I : 高知県、クローズドシステム処分場	- 16 -
10) 事例 J : 愛媛県、クローズドシステム処分場	- 16 -

1. 総合評価方式の事例検討

1.1 概要

最終処分場建設等事業において、総合評価方式の適用事例及びその概要を各事例の公表資料から整理した。ここでは、施工のみの分離発注、設計・施工を併せて発注する DB 方式、設計・施工に加え運営まで含まれる DBO 方式、設計・施工・運営を PFI 事業として発注する PFI 方式のそれぞれの事例についてまとめた。

1.2 主な事例

ここでは、北海道から四国に位置する 10 事例の最終処分場を取り上げた。発注形態は、分離発注×4 件、DB 方式×4 件、DBO 方式×1 件、PFI 方式×2 である。このうち、オープン型最終処分場（以下、「OP」と略す。）が 3 件、クローズドシステム最終処分場（以下「CS」と略す。）が 7 件である。

対象事例の概要（発注形態、おおよその規模（埋立容量、価格）、廃棄物の種類）と技術評価項目（項目数、項目名）について、表 1-1 に整理して示した。

評価項目のうち施工計画については、10 件中 9 件と、ほぼすべての事例で評価項目として取り上げられている。次いで、遮水工（8 件）、環境（7 件）などが比較的多くの事例で取り上げられている。

また、事例 B や J では「軟弱地盤」が、事例 D や G では「積雪」が評価項目として取り上げられており、計画地の自然条件が評価の対象とされている。

表 1-1 主な事例の概要と総合評価項目

工事・事業例	発注形態				規模		主な廃棄物の種類					技術評価																					
	分離	DB	DBO	PFI	容量 (万 m ³)	金額 (億)	一般 ／ 産廃	焼却 灰	不燃 物	スラ グ	可燃 物	項目 数	全 体 計 画	施 工 計 画	積 雪	軟 弱 地 盤	表 面 遮 水	鉛 直 遮 水	コ ン ク リ ー ト	貯 留 構 造 物	覆 蓋	浸 出 水 処 理	早 期 安 定 化	埋 立 作 業	環 境	造 成	安 全	緊 急 対 応	施 工 能 力	維 持 管 理	事 業 計 画	地 域 振 興	
事例 A (北海道、CS)		○			25	37	一般	○	○			9	○	○			○				○		○	○							○		○
事例 B (新潟県、OP)		○			50	70	一般	○				15	○			○						○			○								○
事例 C (滋賀県、CS)		○			20	6.3	一般		○			11		○			○	○			○	○			○					○			○
事例 D (北海道、CS)		○			6.8	23	一般		○			19	○	○	○		○			○	○		○	○	○	○					○		
事例 E (広島県、CS)			○		20	54	一般		○	○		12	○	○			○					○	○	○	○						○	○	○
事例 F (北海道、OP)				○	25	27	一般		○		○	12		○			○					○	○		○						○	○	
事例 G (北海道、CS)				○	11	40	一般		○		○	21	○	○	○		○			○	○		○	○	○					○	○	○	○
事例 H (岐阜県、OP)	○				27	14	一般	○				6		○			○								○	○	○	○					
事例 I (高知県、CS)	○				12.0	15	産廃	○				2		○																			
事例 J (愛媛県、CS)	○				5.8	15	一般		○			2		○		○			○														

※ CS：被覆型（クローズドシステム）最終処分場，OP：オープン型最終処分場

1) 事例 A : 北海道、クローズドシステム最終処分場

表 1-2 事例A(北海道、CS)、概要と評価項目

①発注年度		平成 20 年度		
②整備内容		CS 最終処分場の新設 (設計・施工一括発注)		
③施設概要		埋立廃棄物容量 約 252,000m ³		
④概略スケジュール		入札公告～落札者決定まで：約 4 か月 (提案期間：約 3 か月、審査期間：約 1 か月)		
⑤ 主な入札参加条件	企業構成	地元企業 2 者以上を含む複数 JV		
	施工実績	50,000m ³ 以上の一般廃棄物最終処分場かつ CS 一般廃棄物最終処分場の施工実績 (1 者が有すること)		
⑥審査委員会 (構成・人数)		2 名 (学識経験者 2 名)		
⑦ 落札者決定基準	評価点	加算方式 (技術点 60 点、価格点 40 点)		
	技術評価項目数	9 項目		
⑧ 審査項目	①設計・建設に関する事項		小計 40	
	ア	施設配置計画	施設配置計画／動線計画／貯留構造物	6
	イ	遮水計画	遮水工構造／遮水工破損検知システムと地下水監視／遮水工修復方法	6
	ウ	被覆施設計画	被覆施設計画／被覆施設移設方法(移設する計画の場合)	7
	エ	安定化促進・浸出水処理計画	安定化の考え方／水処理計画／散水方法	11
	オ	埋立作業に配慮した施設計画	埋立作業環境／埋立作業に配慮した施／安全対策	5
	カ	施工計画	品質管理／環境管理／工程／設計・施工体制、実績	5
	②環境対策		敷地内の施設周辺環境整備内容／エネルギー対策／環境教育	小計 5
	③地域や社会への貢献		地元雇用／燃料・資材調達方法／地元資材の活用方法	小計 5
	④維持管理			小計 10
	ア	維持管理費	埋立期間(15 年間)及び埋立終了後の管理期間(5 年間)の運転管理費	10
計			合計 60	
⑨採点基準	評価	評価の考え方	得点化方法	
	A	当該評価項目において特に優れている	配点×1.00	
	B	A と C の中間程度	配点×0.75	
	C	当該評価項目において優れている	配点×0.50	
	D	C と E の中間程度	配点×0.25	
	E	当該評価項目において発注仕様書程度である	配点×0.00	
⑩価格点	価格点 = 配点 40 点× (最低入札価格 / 入札価格)			

2) 事例B：新潟県、オープン型最終処分場

表 1-3 事例B(新潟県、OP)、概要と評価項目

①発注年度		平成 20 年度	
②整備内容		オープン型最終処分場の新設（設計・施工一括発注）	
③施設概要		埋立容量 約 492,000m ³ （最終覆土・保護土含まず）	
④概略スケジュール		入札公告～落札者決定まで：約 6 か月* *低入札価格調査の実施に伴い、当初の予定より 1 か月程度期間を要している。 （提案期間：約 3 か月、審査期間：約 1.5 か月）	
⑤ 主な入札参加条件	企業構成	土木・建築担当 4 社、浸出水処理施設担当 1 社による 5 社 JV	
	施工実績	<ul style="list-style-type: none"> ○土木・建築 1 位構成員 ・50,000m³以上の一般廃棄物最終処分場または公共関与の産業廃棄物最終処分場（管理型）の造成工事 ・軟弱地盤対策（対象層厚 5 m 以上）の地盤改良工を含む土木工事または建築工事 ○浸出水処理施設を担う構成員 次のいずれかの施工実績 ・50,000m³以上の一般廃棄物最終処分場または公共関与の産業廃棄物最終処分場（管理型）の浸出水処理施設整備工事 ・処理能力 50kL/日以上の上り尿処理施設整備工事（汚泥再生処理センター含む） ・処理能力 300m³/日以上下水道処理施設（水処理部分）整備工事 	
⑥ 審査委員会（構成・人数）		6 名（学識経験者 3 名、行政職員 3 名）	
⑦ 落札者決定基準	評価点	加算方式（技術点 1,000 点、価格点 1,000 点）	
	技術評価項目数	6 分類 15 項目	
⑧ 審査項目	1. 全体施設計画		小計 120
	構内配置・動線計画・景観配慮	・建設地の地形、地質、地下水位、気象条件等に配慮した配置計画の適切性	50
		・車両の安全性、維持管理の利便性に配慮した動線計画の適切性	
	施設計画の適切性	・計画、施工計画における品質の確保及び周辺への配慮	70
	2. 軟弱地場対策の計画		小計 390
	軟弱地盤対策の品質	・建設地及び周辺地盤の沈下量予測、解析方法の確性	80
		・建設地の機能確保及び周辺地盤への影響回避に対する沈下量の保証値、設定根拠その検証手法の的確性	80
		・建設地の機能確保及び周辺地盤への影響回避の沈下量の保証値を満足するための工法の選定、仕様の適切性	130
	工事中の品質管理	・品質確保または向上及び動態観測計画の適切性	50
	供用中の維持管理に配慮した計画	・埋立地（供用開始かあ埋立完了）の沈下に対する維持管理方法の適切性	50
3. 遮水工の性能		小計 180	
遮水シートの品質	・遮水シートの施工品質の適切性	90	
	漏水検知システムの計画	・漏水検知システムの信頼性及び施工計画の	90

	4. 浸出水処理プラントの性能		小計 150		
	安定稼働に対する性能	・安定稼働を可能にする処理システムの配慮 ・水量、水質変動に対する適用性 ・稼働の実績	40		
	維持管理、補修に対する配慮	・維持管理、補修を容易にする機器選定及び配置の適切性 ・プラント機器及び部材の耐久性 ・放流水質の環境維持の方策の適切性	70		
	用役量の低減	・電気、水道水、薬品等の使用量低減方法の適切性 ・省エネルギー、高効率な機器の採用の考え方の適切性	40		
	5. 環境保全計画		小計 80		
	公共水域への影響の抑制	・工事中の雨水及び地下水排水等の影響抑制の適切性	40		
	大気、騒音、振動の抑制	・工事中の建設機械、車両等の大気、騒音・振動の影響抑制の適切性	40		
	6. 地域経済の活性化		80		
	地元企業との協働	・特定共同企業体に占める市内企業の出資割合	80		
	合 計		1,000		
⑨採点基準	1 5	判定	評価内容	採点の算出方法	
		A	特に優れている	配点×100%	
		B	かなり優れている	配点× 75%	
		C	優れている	配点× 50%	
		D	やや優れている	配点× 25%	
		E	要求水準書を満たす程度	配点× 0%	
	6	判定	評価内容（市内企業の出資割合）		採点
		A	合計 70%以上		
		B	合計 60%以上、70%未満		
		C	合計 50%以上、60%未満		
		D	合計 40%以上、50%未満		
	E	合計 40%未満			
⑩価格点	価格点 = 配点 1,000 点 × (最低入札価格 / 入札価格)				

3) 事例C：滋賀県、クローズドシステム最終処分場

表 1-4 事例C(滋賀県、CS)、概要と評価項目

①発注年度		平成 20 年度	
②整備内容		最終処分場適正閉鎖・再生区画（被覆型）整備	
③施設概要		既埋立容量：約 200,000m ³	
④概略スケジュール		入札公告～落札者決定まで：約 2 か月 （提案期間：約 1 か月、審査期間：約 1 か月）	
⑤主な入札参加条件	企業構成	落札者は単体企業	
	施工実績	-	
⑥審査委員会（構成・人数）		委員会は設置されている	
⑦落札者決定基準	評価点	加算方式（技術点 55 点、価格点 100 点）	
	技術評価項目数	5 分類 11 項目（技術評価点は 10 項目に対して配点されている）	
⑧審査項目と配点	施工計画		配点
	1. 最終覆土（キャピラリーバリア）	最終覆土工（キャピラリーバリア）は、経験や研究成果の知見に基づく計画が望まれ、さらに降雨時の浸出水質への影響や再資源化作業への配慮、さらには透水率等の品質管理方法などの配慮事項が適切に施工計画へ反映されている。	40
		配慮事項に対する工夫が見られない。	0
	2. 鉛直遮水工事 3. 表面遮水工事（遮水シート工）	施工場所は狭く、敷地境界が近接しているうえ既設廃棄物が急傾斜で埋め立てられているので、作業の安全性や周辺の影響に配慮した施工方法が適切に計画されている。	5
		小規模な二重シートによる遮水工における材料の管理、継手の管理、検査方法などについての配慮と工夫が見られる。	0
	性能規定		配点
	4. 被覆設備	小規模な被覆設備について、規定の性能を十分満たすとともに、耐久性などにおいて秀でており、換気・採光・温度等について施工段階で維持管理を想定した工夫が見られる。	5
		性能としては標準的であり、配慮事項に対する工夫が見られない。	0
	5. 浸出水処理設備	設計の処理能力、計画水質に対して十分な性能を有しているうえ、適切な浸出水の管理方法によって周辺環境への負荷を低減させる配慮がされている。	10
		性能としては標準的であり、配慮事項に対する工夫が見られない。	0
	環境監理計画		0
	6. 環境管理	廃棄物埋立地での形質変更工事であることを熟知し、飛散、水質汚濁、悪臭等の生活環境影響要因に対して監視体制や施工管理において配慮と工夫がされている。	10
		監視項目・頻度としては標準的であり、配慮事項に対する工夫が見られない。	0

	企業の施工能力		0
	7.企業の技術貢献	最終処分場における技術開発や研究に関する団体への参加の有無、LS研・CS研の会員企業であること。	3
		主要工事に関する技術開発や研究に関する団体の会員企業	1
		特に本工事に関連する技術貢献に寄与する団体へは参加していない。	0
	8.配置予定技術者の資格保有年数	監理技術者初回交付後5年以上の保有	3
		監理技術者初回交付後5年に満たない保有	0
	9.配置予定技術者の施工実績	最終処分場適正閉鎖工事における最終覆土工事及び地下水鉛直遮水工事の施工実績がある。	3
		上記の施工実績がない。	0
	地域振興		
	10. 地元製品の活用		
	11. 地元企業の利活用		
⑩価格点	価格点 = 配点 100 点 × (1 - 入札価格 / 予定価格)		

4) 事例D：北海道、クローズドシステム最終処分場

表 1-5 事例D(北海道、CS)、概要と評価項目

①発注年度		平成 25 年度	
②整備内容		CS 最終処分場の新設（設計・施工一括発注）	
③施設概要		埋立廃棄物容量 約 68,000m ³	
④概略スケジュール		入札公告～落札者決定まで：約 6 か月 （提案期間：約 4 か月、審査期間：約 2 か月）	
⑤ 主な入札参加条件	企業構成	構成員の数は 3 社以内	
	施工実績	埋立容量 50,000m ³ 以上の一般廃棄物最終処分場または公共関与型産業廃棄物管理型最終処分場	
⑥審査委員会（構成・人数）		4 名（学識経験者 2 名、行政職員 2 名）	
⑦ 落札者決定基準	評価点	加算方式（技術点 70 点、価格点 30 点）	
	技術評価項目数	8 分類 19 項目	
⑧ 審査項目	①設計・施工における配慮		小計 49
	貯留構造物	安全性	7
		水密性	3
	遮水工	安全性	5
		漏水時の対策	2
		施工・施工監理	2
	被覆施設	安全性	7
		省エネルギー	2
		環境対策	2
	浸出水処理計画及び早期安定化	散水・浸出水処理計画	4
		浸出水の集排水及び早期安定化	2
	施設配置計画及び埋立地内の作業性	施設配置計画	4
		埋立作業	3
	施工計画	施工・工程計画	4
		環境保全対策	2
	②運転・維持管理における配慮		小計 10
	運転・維持管理の効率化及び費用削減策		4
運転・維持管理費		6	
③地域・環境への配慮		小計 11	
地域振興への貢献		5	
	周辺環境との調和	3	
	環境教育・情報公開	3	
計		70	
⑨採点基準	評価	評価の考え方	得点化方法
	A	大変優れている	配点×1.0
	B	優れている	配点×0.7
	C	普通	配点×0.4
	D	発注仕様書を満たす程度	配点×0.1
⑩価格点	価格評価点 = 配点 30 点×（最低入札価格）／入札価格		

5) 事例E：広島県、クローズドシステム最終処分場

表 1-6 事例E(広島県、CS)、概要と評価項目

①発注年度		平成 22 年度		
②整備内容		CS 最終処分場の設計、建設、運営及び管理（一括発注：DBO 方式）		
③施設概要		埋立廃棄物容量 202,500m ³		
④概略スケジュール		入札公告～落札者決定まで：約 5 か月 (提案期間：約 3 か月、約 2 か月)		
⑤ 主な入札参加条件	企業構成	単独企業または複数の企業で構成（数の上限はなし）		
	施工実績	<ul style="list-style-type: none"> 埋立容量 50,000m³以上の最終処分場（一般廃棄物最終処分場または公共関与の管理型最終処分場） 最終処分場（一般廃棄物最終処分場または公共関与管理型最終処分場） 		
⑥審査委員会（構成・人数）		—		
⑦ 落札者決定基準	評価点	加算方式（技術点 60 点、価格点 40 点）		
	技術評価項目数	3 分類 12 項目		
⑧ 審査項目	①設計・建設		32	
	1. 施設計画・施工計画	事業全体の基本コンセプト、災害対策、主要施設の設計基準・施工方法・品質管理・性能確認、工事期間中の排水・騒音・振動・粉塵等の保証値、環境負荷軽減対策について、優れた提案がなされているか。	10	
		2. 遮水対策	遮水構造、破損修復方法、破損または漏水の確認方法について、優れた提案がなされているか。	6
		3. 浸出水処理対策	処理システム、原水質の変動への対応について、優れた提案がなされているか。	4
		4. 環境対策	環境保全基準（計画施設の公害防止基準）、地下水質異常時の対応、被覆施設内の作業環境基準、景観への配慮、緑地・遊歩道計画、ビオトープ計画について、優れた提案がなされているか。	8
		5. 早期安定化対策	空気供給能力、浸出水集排水能力、最終処分場廃止までの期間短縮について、優れた提案がなされているか。	4
	②運営・管理		16	
	1. 埋立計画	埋立廃棄物の減容化対策、早期安定化対策、埋立作業の管理について、優れた提案がなされているか。	6	
		2. 環境対策	計画施設の環境管理基準（測定項目、箇所及び頻度）、被覆施設内の作業環境管理基準（測定項目、箇所及び頻度）、最終処分場廃止時期の把握に係る対策、環境情報の提供、ビオトープのモニタリングについて、優れた提案がなされているか。	4
		3. 施設管理	見学者ルートでの清掃、緑地・遊歩道の清掃・維持管理、遮水工の維持管理、浸出水処理施設の維持管理、被覆施設の維持管理、貯留構造物の維持管理計画について、優れた提案がなされているか。	6
	③事業計画		12	
	1. 各企業の役割分担及び関係等	各企業の役割及び役割分担、設計・建設期間及び運営・管理期間ごとの実施体制及び人員配置（配置人数、有資格者等）について、優れた提案がなされているか。	2	

	2. 財務の健全性及び安定性の確保	資金計画（出資比率の考え方，資金管理，配当方針，資金不足時の対応等），SPCの出資構成について，優れた提案がなされているか。	2
	3. リスク管理方針	リスク管理の方針・理念，主な潜在的リスクと当該リスクの管理・対応策，付保する保険について，優れた提案がなされているか。	4
	4. 地域や社会への貢献	地域の企業等との協力・連携，地域の人材活用・資材調達，運営・管理期間中における暫定的な跡地利用の方法について，優れた提案がなされているか。	4
⑨採点基準	評価	評価の考え方	得点化方法
	A	特に秀でて優れている	配点×1.0
	B	秀でて優れている	配点×0.75
	C	優れている	配点×0.5
	D	わずかに数れている点を認める	配点×0.25
	E	要求水準を満たしているものの優れている点が認められない	配点×0.0
⑩価格点	価格点 = 配点 40 点×（最低提案価格／提案価格）		

6) 事例 F : 北海道、オープン型最終処分場

表 1-7 事例F(北海道、OP)、概要と評価項目

①発注年度		平成 16 年度	
②整備内容		オープン型最終処分場の設計、建設、運営及び管理（一括発注：PFI 方式）	
③施設概要		埋立廃棄物容量 189,000m ³	
④概略スケジュール		入札公告～落札者決定まで：約 4 か月 （提案期間：約 3 か月、審査期間：約 1 か月）	
⑤ 主な入札参加条件	企業構成	一企業とすることも複数企業の共同とすることも可能	
	施工実績	廃棄物埋立容量 50,000m ³ 以上の一般廃棄物最終処分場または公共関与の産業廃棄物最終処分場（管理型）	
⑥審査委員会（構成・人数）		5 名（学識経験者 3 名、行政職員 2 名）	
⑦ 落札者決定基準	評価点	加算方式（技術点 60 点、価格点 40 点）	
	技術評価項目数	3 分類 12 項目	
⑧審査項目	①設計・建設業務に関する事項		小計 30
	1. 早期安定化対策	i. 空気供給能力、ii. 浸出水集排水能力、iii. その他技術等	7
	2. 浸出水処理対策	i. 処理システム、ii. 原水質の変動への対応、iii. 寒冷地対策	6
	3. 遮水対策	i. 遮水構造、ii. 破損修復方法、iii. 破損または漏水の確認方法	7
	4. 環境対策	i. 環境保全基準（公害防止基準）、ii. 地下水質異常時の対応、iii. 周辺自然環境との調和、iv. 景観への配慮	5
	5. 施工計画	i. 品質管理・性能確認、ii. 環境管理	5
	②運営・維持管理及び施設の廃止に係る管理業務に関する事項		小計 17
	1. 埋立計画	i. 搬入不適物の除去、ii. 埋立廃棄物の減容化、iii. 早期安定化に対する対策、iv. 浸出水の発生抑制、v. 埋立作業の管理、vi. 現地気象状況に対応した埋立方法	7
	2. 環境対策	i. 運営期間・管理期間における計画施設の環境管理基準（測定項目、箇所及び頻度）、ii. 運営期間における最終処分場廃止時期の把握に係る対策、iii. 環境情報の提供	5
	3. 施設管理	i. 施設清掃、ii. 遮水工の維持管理、iii. 浸出水処理施設の維持管理、iv. その他施設の維持管理	5
	③事業計画に関する事項		小計 13
	1. 資金調達の確実性	予定される金融機関の具体的記述や金融機関との交渉状況（金融機関の融資確約書の添付等が認められる場合には、A の評価とする。）	2
	2. 長期収支計画の安定性	事業全体を通して余裕のある収支計画となっている場合は、確実性、実効性などを勘案	2
	3. リスク管理方針	事業者が負担する施設の性能リスクや環境保全リスク、事故の発生リスク、その他のリスクについて、追加的な保険の付保等が適切かつ具体的に実現可能か	6
	4. 地域社会への貢献	事業の実施に伴い、地域（市）経済や地域社会の活性化に貢献する提案	3

	評価	評価の考え方	得点化方法
⑨採点基準	A	特に優れている	配点×1.0
	B	AとCの中間程度	配点×0.7
	C	優れている	配点×0.4
	D	CとEの中間程度	配点×0.1
	E	優れているとは認められない	配点×0.0
	⑩価格点	入札価格から市の税金等収入を減じた額の現在価値（割引率4%）が最小となった提案に対し40点を付与する。他の入札参加者の同現在価値については、最小入札価格の現在価値との差額に対し（1点／4000万円）の割合で算出し、40点から減じた得点を付与する。	

7) 事例G：北海道、クローズドシステム最終処分場

表 1-8 事例G(北海道、CS)、概要と評価項目

①発注年度		平成 29 年度		
②整備内容		CS 最終処分場の設計、建設、運営及び管理（一括発注：PFI 方式）		
③施設概要		埋立廃棄物容量 109,226m ³		
④概略スケジュール		入札公告～落札者決定まで：約 4 か月 （提案期間：約 3 か月、審査期間：約 1 か月）		
⑤ 主な入札参加条件	企業構成	単独の企業または複数の企業で構成されるグループ		
	施工実績	<ul style="list-style-type: none"> 埋立容量 50,000m³以上の一般廃棄物最終処分場又は公共関与型産業廃棄物管理型最終処分場 CS 一般廃棄物最終処分場または公共管渠型産業廃棄物管理型最終処分場（規模は問わない。） 		
⑥審査委員会（構成・人数）		6 名（学識経験者 5 名、行政職員 1 名）		
⑦ 落札者決定基準	評価点	加算方式（技術点 120 点、価格点 80 点）		
	技術評価項目数	6 分類 21 項目		
⑧ 審査項目	①事業計画		小計 10	
	1.事業実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 基本的考え方 民間資金、ノウハウ活用の効果 事業組立の考え方 	4	
		2.事業推進体制	<ul style="list-style-type: none"> グループ内での各企業の役割、指揮系統等マネジメント体制 	3
		3.提案技術の信頼性	<ul style="list-style-type: none"> 提案技術の実績、信頼性 ハード、ソフト両面における提案内容の特徴 	3
	②設計・建設・運転に関する事項		小計 50	
	1.施設配置	<ul style="list-style-type: none"> 施設配置計画 動線計画（埋立地内動線を含む） 	5	
		2.遮水	<ul style="list-style-type: none"> 遮水構造 遮水工破損検知システムと地下水監視 	5
			3.貯留構造物及び 覆蓋施設	<ul style="list-style-type: none"> 貯留構造物、覆蓋施設計画 覆蓋施設移設方法（移設する計画の場合） 地域特性（気象条件）への配慮
		4.安定化促進・ 浸出水処理		<ul style="list-style-type: none"> 安定化の考え方 浸出水処理計画 散水方法
			5.埋立作業	<ul style="list-style-type: none"> 埋立作業環境 埋立作業に配慮した施設 安全対策
		6.施工		<ul style="list-style-type: none"> 品質管理 環境管理 工程 設計・施工体制、実績
			7.埋立終了後の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 最終覆土の考え方 覆蓋施設撤去の考え方 閉鎖管理の考え方
		8.災害・事故等への 対策		<ul style="list-style-type: none"> ハード対策 ソフト対策
	③環境及び住民への配慮		小計 14	

	環境及び住民への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 施設周辺の環境対策 景観 エネルギー対策 運営・維持管理における環境管理（モニタリング） 環境都市構築への協力に関する考え方 情報公開 環境教育・見学者対応 	14
④地域や社会への貢献[建設時及び運営維持管理]			小計 14
	地域や社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> 地元雇用 燃料・資材調達 地元企業等の活用 その他 	14
⑤運営・維持管理計画			小計 20
	運営体制	<ul style="list-style-type: none"> 運営計画（SPC マネジメント等）の適切性 人員、人材配置の適切性 	3
	経費節減	<ul style="list-style-type: none"> 経費節減の取組み 	3
	主要業務管理	<ul style="list-style-type: none"> 受付業務、埋立業務、浸出水処理業務、情報管理業務に対する考え方（安全性、安定性、正確性等） 市が実施するモニタリングに対する協力の考え方 	8
	安全・衛生	<ul style="list-style-type: none"> 運営、維持管理における安全性及び衛生性 	3
	点検・検査・補修・機器更新	<ul style="list-style-type: none"> 点検、検査、補修、機器更新計画の適切性 	3
⑥経営計画			小計 12
	収支計画	<ul style="list-style-type: none"> 施設整備費及び運営維持管理費の妥当性 事業収支計画の適切性 余剰積立金の考え方 返済計画の安定性（DSCR,LLCR） 	5
	資金調達計画	<ul style="list-style-type: none"> 資金調達方法の適切性（出資、借入、調達先、調達条件等） 資金調達の確実性 	4
	リスク対応の適切性	<ul style="list-style-type: none"> リスク顕在時の対応策（保険の付保等） 事業破綻回避の考え方 SPC または出資者の破綻時の対処方法 	3
⑨採点基準	評価	評価の考え方	得点化方法
	A	特に優れている	配点×1.0
	B	優れている	配点×0.75
	C	やや優れている	配点×0.5
	D	要求水準を満たしている程度	配点×0.25
⑩価格点	<p>・採点対象となる入札価格は、「市が支払う整備・運営委託料の現在価値」とする。</p> <p>・配点は80点とし、最低価格に満点を与える。</p> <p>・最高価格には、次式で与える価格点とする。</p> $\text{価格点（最高価格）} = \text{配点80点} \times (\text{最低価格} / \text{最高価格})$ <p>・最低価格と最低価格の間の価格に対しては、次式で与える価格点とする。</p> $\text{価格点（最低価格と最高価格の間）} = \text{配点80点} + (\text{価格点（最高価格）} - \text{価格点（最低価格）}) \times (\text{入札価格} - \text{最低価格}) / (\text{最高価格} - \text{最低価格})$		

8) 事例H：岐阜県、オープン型最終処分場

表 1-9 事例H(岐阜県、OP)、概要と評価項目

①発注年度		平成 20 年度	
②整備内容		オープン型最終処分場の新設（施工のみ）	
③施設概要		埋立容量約 270,000m ³	
④概略スケジュール		公告～入札(最高評価者決定)まで：約 1 か月 事後審査(参加資格等)～落札者決定まで：約 2 週間	
⑤ 主な入札 参加条件	企業構成	地元企業 2 者による JV	
	施工実績	経営事項審査：土木一式工事の総合評定点 890 点以上 " 平均工事高 5.55 億以上 施工実績：2.8 億円以上の土木一式工事の元請け	
⑥審査委員会（構成・人数）		無し	
⑦ 落札者決 定基準	評価点	除算方式 評価値＝(標準点 100＋加算点 30)／入札価格 加算点 30 点のうち技術提案に係るものは 7 点	
	技術評価項目数	6 項目	
⑧ 審査項目	①施工能力（技術所見）		小計 7
		事故防止の安全対策	1
		環境に配慮した施工	1
		土工における切盛土・運土計画	1
		緊急時における対策	1
		遮水シート工の施工、接合方法及び品質管理	1
	遮水シートの保証年数（15 年保証：2 点、10 年保証：1 点）		2

9) 事例 I : 高知県、クローズドシステム最終処分場

表 1-10 事例I(高知、CS)、概要と評価項目

①発注年度		平成 19 年度	
②整備内容		CS 最終処分場の新設 (施工のみ)	
③施設概要		埋立容量約 120,000m ³	
④概略スケジュール		公告～入札まで : 約 1 か月	
⑤ 主な入札 参加条件	企業構成	地元企業 3 者による JV	
	施工実績	経営事項審査：土木一式工事の総合評定点 1,200 点以上 施工実績：盛土または埋戻し量が 20,000m ³ 以上の土工事	
⑥審査委員会 (構成・人数)		無し	
⑦ 落札者決定基準	評価点	除算方式 評価値=(標準点 100+加算点 20)/入札価格 加算点 20 点のうち技術提案に係るものは 8 点	
	技術評価項目数	2 項目	
⑧ 審査項目	施工計画の評価		小計 8
		材料等の品質管理に関する所見 「貯留構造物工におけるコンクリート擁壁のクラック対策について」	4
		施工上の課題に関する所見 「補強土壁工の盛土の施工管理について」	4

10) 事例 J : 愛媛県、クローズドシステム最終処分場

表 1-11 事例J(愛媛県、CS)、概要と評価項目

①発注年度		平成 21 年度	
②整備内容		CS 最終処分場の新設 (施工のみ)	
③施設概要		埋立容量約 58,000m ³	
④概略スケジュール		公告～入札まで : 約 1 か月	
⑤ 主な入札 参加条件	企業構成	地元企業 2 者を含む 3 者 JV	
	施工実績	経営事項審査：土木一式工事の総合評定点 1400 点以上 施工実績：一般廃棄物最終処分場本体工事の元請施工	
⑥審査委員会 (構成・人数)		無し (ただし、落札者決定時に学識経験者から意見聴取する。)	
⑦ 落札者決定基準	評価点	除算方式 評価値=(基礎点 100+加算点 20)/入札価格 加算点 20 点のうち技術提案に係るものは 10 点	
	技術評価項目数	2 項目	
⑧ 審査項目	施工上配慮すべき事項		小計 10
		深層混合処理工法における品質確保について	5
		コンクリートの品質確保に関する事項	5